

経 済 民 生 常 任 委 員 会 記 録

令和元年 12 月 26 日(木)午前9時 22 分～午前 11 時 41 分(9階 908 会議室)

○出席委員(7名)

委 員 長	二階堂武文
副委員長	佐々木 優
委 員	高木 直人
委 員	川又 康彦
委 員	石山 波恵
委 員	阿部 亨
委 員	小松 良行

○欠席委員(1名)

委 員	山岸 清
-----	------

○市長等部局出席者(なし)

○議 題

「令和元年台風第 19 号による農業被害の状況についての現地調査」

(1) 現地調査について

(2) その他

午前 9 時 22 分 開 議

(二階堂武文委員長) 経済民生常任委員会を開会いたします。

ちょっと山岸委員のほうから連絡ございませんが、スケジュールもありますので、進めさせていただきます。

令和元年台風第19号による農業被害の状況についての現地調査を議題といたします。

早速ですが、お手元に配付の行程に基づき、現地調査へ向かいたいと思います。

それでは、委員会を暫時休憩し、出発いたします。

午前 9 時 24 分 休 憩

午前 11 時 28 分 再 開

(二階堂武文委員長) 委員会を再開いたします。

それでは、本日の現地調査について、簡単に意見の開陳を行います。本日視察した内容及び聴取した説明に関してご意見のある方はお述べください。

（小松良行委員）委員長、まずこれ、まとめたやつを、意見開陳までして、きょうの現地調査していると。これってどこに例えば報告するとか要望するとか何か、この調査はどういうふうにするの。どうなってしまうの。だから、市政だよりの市議会だよりにぼんと写真を入れて載せるとか、それぞれ会派でも会報やるのだったら載せてねとか、何にこれ、あれするのでしょうか。

（二階堂武文委員長）せっかくですから。でも、次の議会だよりと何かかの。

（書記）可能性としては、例えば議会報告会の中でご報告いただくとか、あとは会派のそれぞれの会派の便りの中に、常任委員会の活動でこういったことを行いましたというような形で還元いただくのが一番になってくるのかなと。

（小松良行委員）済みません。余計なことを。では、そういうスタンスですね。

（書記）あとは、皆さんそれぞれこれからある一般質問や委員会審査等々に、それぞれきょうの見ていただいた知識とか、そういったのを生かしていただければいいのかなということです。

（小松良行委員）わかりました。ありがとうございます。

（二階堂武文委員長）いかがでしょうか。

（佐々木優委員）瀬上の阿部さんのところでは、この先もうちょっと様子を見ないとわからないことがあるというふうにおっしゃっていました。木の状況なんかも、春になって、だんだん実がならないかちょっとわからないという状況があったりしたので、経過を見ていかなければいけないというふうに改めて思いましたし、その後の対策もやっぱり福島市で無理な場合は県にも国にも求めていかなければいけないのではないかなというふうに思いました。

あと、いろいろこういうのがあったらいいとか、そういうご要望なんかも出てきたと思うのです。例えば盛り土のところに補助はないのだよねということで、そもそも大変な地形のところで営農されているところ、それは今までの流れなんかがあると思うのですけれども、何かしら対応ができることはないかということこれから探っていく必要があるなというふうに感じました。

（阿部 亨委員）どちらの地区も、現場といいますか、現実を、被害等々を伺って、根本的なことでいって、胡桃川と、もう一つ、何川でしたっけ。瀬上の。

【「蛭川」と呼ぶ者あり】

（阿部 亨委員）蛭川。そもそもやっぱり河川の整備と土砂上げというのはですか、そこに尽きるのかなとまずは思いました。土砂をかき分けるとか、やっている部分はあるといったのでしたっけ。小松さん言ったように、やっぱり下のほうがぐちゃぐちゃなので、完璧にやっぱりそういう部分が、上のほうからだけやっていて、とりあえずどっと流れてきてしまうとか言っているの、まずはその部分の整備なり土砂上げをやるということなのではないかなと、そこに尽きるのかなというふうには私は感じました。

以上です。

(川又康彦委員) 私は、今回2つの被害、両方とも川の溢水によるものだと思っていたのですが、キュウリのほう、鎌田地区については今回のものだけではなく、年に何回も内水の被害というの也比较的多いというのを改めて確認することができたので、そこからになってしまうと、委員会で所管する部分ではなくなりますけれども、議員だから、できる活動というか、そういった部分で、この内水被害についてもどういう対策をしなければならないのか、それぞれ個人も考えなければならない議題なのかなと改めて感じました。

(石山波恵委員) 実際現場を見るまでは、川の泥とかの被害がすごいのかと思ったら、実際流れてくる家庭ごみや便器が流れてきたところがあったり、何かタイヤとか、いろんなものが流れ込んできていたというのを現場で見て、やっぱりあれを全部片づけるのはすごく大変だし、あとキュウリの梅宮さんがおっしゃっていましたが、やっぱり暖房とかボイラーの機械のところがまず早期に補助とか、あとそれをそろえてやらないと何も作業ができないということが、やっぱり機械やられてしまうと、人力だけではどうしようもないなというのが改めてちょっと感じたものでした。

(高木直人委員) きょう視察をした2軒の農家とも後継者の方はいらっしゃるというふうに伺いまして、あと地域でも後継者であったりとか、あと研修生が来ているというふうにお話を伺いましたけれども、やはりそういった後継者の方々がしっかりと希望を持って今の農業を引き継いで、しっかりと今後の福島の農業を背負って立っていただけるような、そういったやっぱり今回のいろんな施策であったりとか、あと補償であったりとか、本当に農家の方のご要望も可能な限り聞いていただいて、もし本当に漏れているものとか、もう少し何か手厚くできるものがあれば、そういったところを市としても国なり県なりJAなりに要望していければなというふうに感じました。

以上です。

(二階堂武文委員) 2カ所、農業被害の状況を調査してまいりまして、キュウリ栽培農家の方、やはり施設園芸の業というところになる、先ほど次長にお伺いしました。設備投資というのがかかるというところで、今回やはり設備がすごく被害を、水をかぶって被害を受けてしまって、その復旧に対する予算面でのこととか、大変さ、ハウスの建て替えの問題もちょっと話に出てまいりました。築40年ということで、3,000万円ぐらい建て替えるのにかかるということで、ただ今ほど出たように、やっぱり後継者もいるということで、先々も考えたときに、ハウスの建て替えを含めて、今後検討していけるようなことをちょっと伺ってまいりました。そういった面でのやはり行政サイドのほうの今後いろいろ応援というのも本当に大切だなと改めてちょっと感じた部分です。

あともう一点は、モモの木の幼木というか、やはり春になってみないと枯れているのかどうなのかがちょっとわからないというところで、佐々木委員のほうからもお話ありましたけれども、そういった意味では本当に今後の状況を見た上での新たな補助のあり方とか何かというの、やはりここで見えにくい問題でもないなというのを改めて感じました。農政部の皆さんも、次長さんも一緒に話を聞

いていただきましたので、今後どのように施策にも反映していただけるのかという部分、注視していきたいと思います。

あともう一点だけ、最後に。都市型下水のところからやはり氾濫したということで、キュウリハウスの場合はあって、年に3回ぐらい多いときは、一番低いハウスに水が入ってしまうというようなことがあります。上流域でどんどんやはり宅地開発とか、また新たに岡部の支所周辺なんかもいろいろな住宅、宅地開発が進んでおりますが、ポンプを4台まで増設して耐えようとしている現状がありますが、ただ実際にやはり今回も水があふれているということを考えたときに、地域全体、根本的にその辺の、こちらは下水ということで、また所管外になってしまいますが、やはり議員としてもいろいろ総合的に考えていかななくてはならないところだなと改めて思いました。

私のほうから以上です。

(二階堂武文委員長) ほかよろしいでしょうか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(二階堂武文委員長) なければ、本日は以上となります。どうもお疲れさまでした。

それで最後に、現地調査につきましては以上といたしますが、最後にその他ということで、前回の委員会でお話ししました参考人招致のプレスリリースの件についてです。先日、正副委員長のほうで議長に相談に行かさせていただき、プレスリリースについてご了解をいただきました。今回は、他の常任委員会でも、福島市議会として参考人招致、今回1月に3常任委員会で計画されているということで、議会としまして、ほかの常任委員会でも同時期に参考人招致を予定していることから、それらもあわせて福島市議会からのプレスリリースとして対応するというので、その場で議長のほうから判断を示していただきました。ここでご報告をさせていただきます。

ほか皆さんのほうからなければ、本日は以上となります。お疲れさまでした。

午前11時41分 散 会

経済民生常任委員長 二階堂 武文